

第76回日本臨床眼科学会

- 日時** 2022年10月13日(木)～16日(日)
- 会場** 東京国際フォーラム (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1)  
JPタワーホール&カンファレンス (〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-7-2)
- 学会長** 飯田知弘(東女医大)
- 副学会長** 福下公子(東京都眼科医会)
- プログラム委員長** 瓶井資弘(愛知医大)
- テーマ** 「継承と創造, そして未来へ」
- プログラム** 特別講演  
「緑内障における前房隅角の病態診断と治療介入」久保田敏昭(大分大)  
「網膜静脈閉塞症の病態理解と治療戦略」辻川明孝(京成大)
- 招待講演  
「The development of innovations in ophthalmology」Eugene de Juan Jr (University of California, San Francisco, USA)  
「オートファジーから見えてきた細胞像」大隅良典(東京工業大・科学技術創成研究院・細胞制御工学研究センター)
- シンポジウム  
「前眼部・外眼部外傷の攻略法 Pit & Falls」  
「エビデンスに基づく新しい診療ガイドライン」  
「難治性緑内障の治療戦略」  
「低侵襲緑内障手術のファクトチェック～理想と現実」  
「Beyond コロナ時代の糖尿病網膜症診療」  
「抗 VEGF 療法の限界・問題点と対策」  
「眼感染症におけるニューウェーブ」  
「眼内リンパ腫の診断と治療のアップデート」  
「小児眼科検査を考える」  
「チャレンジ視機能評価」  
「網膜疾患・緑内障薬物治療の新しい局面」  
「視覚障害者が活用する ICT 機器」  
「眼科医療と眼鏡作製技能士国家検定資格—眼鏡技術者と眼科医の連携を考察する」  
「特定健診における眼底検査のリポジショニング」  
「眼内レンズの今」  
「継承と創造, そして未来へ—黄斑疾患」  
「継承と創造, そして未来へ—網脈絡膜疾患」  
「継承と創造, そして未来へ—角膜疾患」  
「継承と創造, そして未来へ—緑内障」  
「眼科啓発活動への期待と展望」
- 視能訓練士プログラム  
「超高齢社会に向けた視能訓練士の役割を考える」
- 病医院運営プログラム  
「GIGA スクール構想にむけた眼科医の役割」
- ナーシングプログラム  
「コロナ禍において, 今までと何が違う?—眼科看護のヒト・モノ・情報を見出す」
- 一般講演, 学術展示, インストラクションコース, 共催セミナー, 市民公開講座
- 事前参加登録** 2022年3月1日(火) 12:00～8月16日(火) 12:00

## 参加登録費

| 参加区分                                              | 事前登録     | 当日登録     |
|---------------------------------------------------|----------|----------|
| 医師                                                | 18,000 円 | 25,000 円 |
| 研修医 <sup>*1</sup><br>〔新臨床研修医制度 4 年目（後期研修 2 年目）まで〕 | 5,000 円  | 10,000 円 |
| 大学院生、留学生、コ・メディカル <sup>*1</sup>                    | 5,000 円  | 10,000 円 |
| コ・メディカルサニデーパス〔10/16(日)のみ参加〕 <sup>*1</sup>         | —        | 3,000 円  |
| 非医師・民間研究員                                         | 18,000 円 | 25,000 円 |
| 学生（医療系）・初期研修医 <sup>*1,2</sup>                     | 無料       | 無料       |
| 抄録集発送費用                                           | 1,000 円  |          |

<sup>\*1</sup>：「研修医」、「大学院生、留学生、コ・メディカル」、「コ・メディカルサニデーパス〔10月16日（日）のみ参加〕」、「学生（医療系）・初期研修医」は、主任教授または所属長等の証明書または学生証の写しが必要です。

<sup>\*2</sup>：「学生（医療系）、初期研修医」の無料参加区分の方は、抄録代は含まれておりません。ご希望の場合は、会期当日にご購入ください。（抄録集：1冊 5,000 円）

ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/76ringan/index.html>

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部コンベンション第二事業局内（〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階）

E-mail：76ringan@jtbcom.co.jp

※運営事務局は在宅勤務をしております。お問い合わせはメールでお願いします。

## 第 59 回六大学合同眼科研究会

日 時 2022 年 9 月 3 日（土）13 時 30 分 開会予定

会 場 九州大学医学部百年講堂大ホール

特別講演 西口康二（名古屋大学大学院医学系研究科眼科学分野教授）

一般演題募集 演題締切は 2022 年 8 月 8 日（月）必着。演題名・氏名（連名の場合は演者に○）・所属・所在地を記入。コンピュータ出力によるデジタルプレゼンテーションのみ。プロジェクターは 1 面で、出力は XGA（1024×768）。講演者は講演 30 分前までに PC 受付にデータまたはコンピュータをご持参すること。Microsoft Power Point または Apple Keynote を使用すること。データは USB フラッシュメモリーで受け付け。ムービー使用の際は自身のパソコンを使うこと。講演時間は 7 分。

申込先 九州大学眼科学教室（〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1） 医局長：納富昭司

Tel.092-642-5648 Fax.092-642-5663 E-mail：oculus@med.kyushu-u.ac.jp

研究会は日眼生涯教育事業（1 日 3 単位）に認定されている。

## 第 141 回青森眼科集談会（日眼生涯教育事業 No. 59060）

日 時 2022 年 9 月 25 日（日）9：30～15：00

会 場 弘前大学医学部健康未来イノベーションセンター（〒036-8562 弘前市在府町 5）

特別講演 演者：上野真治（弘前大）

演題募集締切 8 月 19 日（金）

連絡先 弘前大学大学院医学研究科眼科学講座（〒036-8562 弘前市在府町 5）

責任者：上野真治 講座事務局：田澤美賀子

Tel. 0172-39-5095 Fax. 0172-37-5735 E-mail：retina@hirosaki-u.ac.jp

第33回日本緑内障学会

- 日時** 2022年9月16日（金）～18日（日）
- 会場** パシフィコ横浜（〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
- 会長** 鈴木康之（東海大）
- 副会長** 宇津見義一（神奈川県眼科医会）
- テーマ** 緑内障研究の地平
- プログラム**
- 須田記念講演「緑内障の構造から機能へ、そして QOL へ」福地健郎（新潟大）
  - 招待講演「New Insight into the Pathogenesis of Glaucoma」Ki Ho Park（Seoul National University, Korea）
  - 特別講演「イメージングによる脳神経回路の発達とその障害の理解」岡部繁男（東京大・神経細胞生物学）
  - 特別セッション Japan Asia Symposium（English Session）：「MIGS in Asia!」
  - シンポジウム
  - 「濾過手術の適応を考える 2022」
  - 「Neuroscience から見た緑内障」
  - 「PACS の治療介入 ～To do or not to do, that is the question～」
  - 「点眼アドヒアランスと緑内障長期管理」
  - 「新しい視点からの低侵襲緑内障手術の評価 MIGS from new viewpoints」
  - 「緑内障病態にかかわる細胞間ネットワーク」
  - 「緑内障ゲノム研究の臨床応用」
  - 「緑内障治療：眼圧下降だけで十分ですか？」
  - 「次世代画像検査と緑内障診療」
  - 「緑内障診療研究への AI の活用の実情と今後」
  - 「新しい緑内障診療のスタイル：オンライン診療、訪問診療など」
  - 「患者依存の少ない緑内障診療の最新事情」
  - 「緑内障視野—検査と評価の最新アップデート」
  - 教育講演
  - 「最短最速でおさらいする緑内障治療」
  - 「緑内障術後管理、合併症からのリカバリー」
  - 「緑内障早期診断の意義と課題」
  - 「現在眼科診療における視神経乳頭の見方と活用」
  - 研修医・コメディカルプログラム
  - 「OCT による緑内障診療」
  - 「緑内障診療における重要課題とエビデンス」
  - データ解析委員会特別セッション/研究プロジェクト 支援事業報告
  - 一般演題〔口演・eポスター（ショートトークあり）〕
  - 共催セミナー（モーニング・ランチョン・イブニング）
  - 市民公開講座
- 事前参加登録期間** 2022年4月5日（火）～8月8日（月）

事前参加登録費

| 区分           |     | 事前参加登録   | 当日参加登録   |
|--------------|-----|----------|----------|
| 医師・教育研究機関研究員 | 会員  | 15,000 円 | 20,000 円 |
|              | 非会員 | 18,000 円 | 23,000 円 |
| 企業職員         |     | 18,000 円 | 22,000 円 |
| メディカルスタッフ*   | 会員  | 6,000 円  | 8,000 円  |
|              | 非会員 | 8,000 円  | 10,000 円 |
| 研修医*         |     | 8,000 円  | 10,000 円 |
| 学生（大学院生を除く）  |     | 無料       |          |

\*新臨床研修医制度3年目（後期研修1年目）まで

\*メディカルスタッフ・研修医の方は、所属長の証明が必要

学会ホームページ <http://www.congre.co.jp/jgs2022/>

事務局 東海大学医学部医学科専門診療学系眼科学（〒259-1193 伊勢原市下糟屋 143）

運営事務局 株式会社コングレ（〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング）  
Tel. 03-3510-3701 Fax. 03-3510-3702 E-mail : jgs2022@congre.co.jp

第 42 回日本眼薬理学会

日 時 2022 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）

会 場 奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～（〒630-8212 奈良市春日野町 101）

会 長 松本 雄（参天製薬株式会社）

主 催 参天製薬株式会社製品開発本部

プログラム 特別講演

（予定）「角膜難治性疾患の基礎と臨床」座長：村上 晶（順天大），演者：西田幸二（大阪大）

「眼薬理の基礎研究と臨床応用への展望」座長：相原 一（東京大），演者：嶋澤雅光（岐阜薬科大・薬効解析学）

シンポジウム

「視覚再生/オプトジェネティクスと創薬」「遺伝性網膜疾患の臨床と創薬の展望」「アドヒアランス～確実な薬効発現のために～」

学会奨励賞選考，一般演題，共催セミナー，企業展示他

事前参加登録期間 2022 年 5 月 12 日（木）～8 月 31 日（水）

参加登録費

| 区分     | 事前登録    | 当日登録     |
|--------|---------|----------|
| 会員     | 6,000 円 | 8,000 円  |
| 非会員・企業 | 8,000 円 | 10,000 円 |
| 学生     | 2,000 円 | 2,000 円  |

ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/jsop42/>

問い合わせ先 第 42 回日本眼薬理学会運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内  
（〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8F） E-mail : jsop42@jtbcom.co.jp  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のためテレワークを実施中です。  
ご連絡はメールにてお願いします。

第251回O.C.C.

**日時** 2022年11月5日(土) 14:00~17:00  
**会場** 第二吉本ビルディング (〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー8階)  
**テーマ** 緑内障診療2022(仮)  
話題提供者は8月31日までに下記へFAXにてお申し込みください。  
**連絡先** 大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室  
Tel. 06-6879-3456 Fax. 06-6879-3458

第20回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

**日時** 2023年2月18日(土) 14:00~18:00  
**会場** 千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール  
北大阪急行電鉄(地下鉄御堂筋線) 千里中央駅 北改札口1分  
**テーマ** 弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ 弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その5  
**プログラム** 講演  
「急性内斜視の診断と治療」 木村亜紀子(兵庫医大)  
「外斜視手術効果の持続性」 野村耕治(兵庫県立こども病院)  
「弱視の診断と治療時期」 初川嘉一(大阪母子医療センター)  
「乳幼時眼科健診」 杉山能子(金沢大)  
ワークショップ「レチノスコピー」 全メンバー  
**会費** 医師3,000円・非医師1,000円  
**主催** 近畿弱視斜視研究会(遠藤高生, 不二門尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 森本 壮, 村木早苗, 野村耕治, 近江源次郎, 佐々本研二, 白井久美, 菅澤 淳, 杉山能子, 築留英之, 内海 隆, 横山 連)(以上18名・ABC順), 参天製薬株式会社  
**事務局** 内海 隆(医療法人内海眼科医院 Tel. 072-626-1223)  
**おことわり** コロナ禍の状況によってはZoom開催に変更したり, ワークショップが教育ビデオ視聴に変わることがあります。判明次第, 案内させていただきます。